

# 世界のバリアフリー 児童図書展

IBBY選定  
バリアフリー児童図書  
2019

Barrier-free Children's Books from Around the World  
- 2019 IBBY selection of outstanding books for young people with disabilities



2019 IBBY Selection of Outstanding Books for Young People with Disabilities

2020年

7月28日(火) ~ 8月30日(日)

入場  
無料

開催予定が変更になる場合があります。最新情報については、公式ホームページなどをご確認ください。

開館時間 9時30分~17時 休館日 月曜日、8月19日(水)

会場 国際子ども図書館 レンガ棟3階 本のミュージアム



International Library of Children's Literature  
国立国会図書館 国際子ども図書館



# 世界のバリアフリー 児童図書展

IBBY選定  
バリアフリー児童図書  
2019

Barrier-free Children's Books from Around the World  
- 2019 IBBY selection of outstanding books for young people with disabilities

バリアフリー児童図書とは、本を読んだり、見たり、理解したり、ページをめくる動作などにバリア(障害・障壁)がある子どもも楽しめるように、さまざまに工夫された本のことです。

今回の展示会では、国際児童図書評議会(IBBY)が2019年に選定した世界20か国のバリアフリー児童図書40作品を展示します。

本展示会の図書は3つのカテゴリーに分かれています。

## カテゴリーⅠ 特別な形態のもの

点字の絵本、布の絵本、読みやすい活字の本があります。そのほか、「Widgit」というシンプルな設計の絵文字を使用した本が初めて加わり、全部で9作品を紹介します。

## カテゴリーⅡ 誰でも楽しめるもの

特別な形態ではないけれども、誰にでも分かりやすく、学習障害、知的障害、発達障害などの子どもも楽しめる本7作品を紹介します。

## カテゴリーⅢ 障害についてのもの

さまざまな障害について描かれている本24作品を紹介します。

### 日本からの 選出作品

- 『モグモグぱっくん』  
てのひらの会(制作) 2008(布の絵本)
- 『夏がきた』  
羽尻利門 作 あすなろ書房 2017
- 『このあいだになにがあった?』  
佐藤雅彦, ユーフラテス 作 福音館書店 2017

## IBBYとは?

IBBY=International Board on Books for Young People(国際児童図書評議会)は1953年、子どもの本を通して国際理解を広める目的で創設されました。現在は80以上の国と地域が加盟し、子どもと本を結ぶ活動に携わる人々の国際ネットワークになっています。

この展示会はIBBYの日本支部であるJBBY(日本国際児童図書評議会)の巡回展です。各地の開催スケジュールはJBBYホームページでご確認ください。

JBBYホームページ <https://jbbj.org/>



前回展示風景

## 展示資料のポイント

- ・資料解説を音声で読み上げる「i-Pen」があります。
- ・点字の絵本、布の絵本があります。



International Library of Children's Literature

国立国会図書館 国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49

TEL 03-3827-2053(代表)

<https://www.kodomo.go.jp/>

国立国会図書館  
National Diet Library, Japan



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

